

令和3年度 第1回久留倍官衙遺跡公園管理活用委員会 会議録概要

1 日時 令和3年10月1日（金）午後2時00分から午後3時30分

2 場所 大矢知地区市民センター

3 出席者（順不同・敬称略）

【委員】

小澤 毅委員長、木村弘子副委員長、西 さが委員、阪 早苗委員、渡邊重信委員

【事務局】

四日市市教育委員会 社会教育・文化財課 伊藤早百合（課長）、葛山拓也（副参事兼課長補佐）、
清水政宏、三厨浩希、石田智洋、大原涼子、大野路彦

【アドバイザー】

三重県教育委員会 社会教育・文化財保護課 水谷侃司

4 傍聴者 なし

5 会議録（要旨）

（1）開会

あいさつ（略） 伊藤早百合 社会教育・文化財課長

（2）委員紹介

事務局：昨年度、副委員長をしていただいた稲毛弥生様が異動になったため、今回下野小学校長 木村弘子様を委員にご就任いただいた。また、副委員長の後任に木村委員をお願いしたいがいか
がか。

委員：異議なし

（3）報告事項

委員長：事務局より報告をお願いします。

①令和3年度事業報告について

- ・公園活用、保存、ボランティア活用について
- ・学校関係活用について

（事務局より説明）

委員長：質疑はあるか。

委員：特に小学校段階での歴史学習は実感を持って学ぶということが大切である。現地へ
出かけて歴史観を養うことが大切である。久留倍官衙遺跡へのバスでの送迎や交通機関の確保
は必須であるから、ぜひ予算を付けていただきたい。

事務局：今ホームページを使って、動画で学ぶという取り組みをしているが、まずは久留倍官衙遺跡に来てもらいたいということが一番考えている。大人の方も子どもの方もそうである。そのためのお誘いの動画である。バスの手配ができればいいと考えている。予算獲得に向けて取り組んでいきたい。

委員：公園北区の万葉植物ゾーンにフジバカマがある。それに関わって、昨年新聞の記事を見つけた。そこにはフジバカマの蜜を吸うアサギマダラというチョウがいる。そのチョウはシベリアなどの北方から南方まで旅をする。春には日本海側を通って秋には太平洋側を通る。昨年よりフジバカマが咲くように手入れをし、今年咲いている。10月のこの時期に万葉植物ゾーンにも立ち寄るかもしれない。ボランティアや来館者の眼を向けて探してもらえばと思っている。この情報もみなさんに広げていただければと考えている。

委員長：公園に来る動機づけになる。ぜひ活用していただきたい。学校教育にタブレットなど情報端末がいきわたりつつある。それを生かした取り組みは有用である。Wifi環境の整備というのは不可欠であるので、予算化して自由に動画など見られるような措置を講じていただければと考える。

②『史跡久留倍官衙遺跡保存活用計画』

(事務局より説明)

委員長：細部まできちんとしたものが作られている。質問や意見はあるか。

県教委：国、文化庁の認定が必要とされる史跡の保存活用計画ではないという位置づけだということ
で事前に伺っている。委員のみなさまにご承知おきいただければと考える。

委員長：了解した。この件は了承されたものとする。

(4)協議事項

①令和4年度事業

- ・活用について…「奈良県との連携事業 壬申の乱 1350 周年」
…「さらなる公園活用の促進」
…「学校活用」

(事務局より説明)

委員長：質問意見はあるか。(特になし)

- ・整備 排水路計画

(事務局より説明)

委員長：最後のカラー写真で所々集水柵を設けなければならないということで通常のグレーチングを埋めるということで間違いはないか。

事務局：間違いはない。

委員：ルート1で開渠の景観グレーチングを使った場合、現状で土砂が流失してしまったという箇

所への流れはかなり抑えられるということでしょうか。

事務局：はい。直接該当箇所に行くことはないのですが、ルート1である程度水を取ってしまうことになる。

委員：このルート1より下段の部分は何も対策はなしということでしょうか。

事務局：はい。草地がある程度生えてきているので、その上に流水をして既存の側溝に雨水が入る形となる。現状では、下段に上からの流水が一気に流れて追加される形となり、水みちができてしまったという状況である。上段からの流水を抑えられれば落ち着いてくるということになる。

委員：排水溝の幅はどのくらいを考えているのか。

事務局：30cmです。

委員：その上にグレーチングを置いて、さらにその上に人工芝のようなマットを置くのか。

事務局：はい。

委員：心配なのは人工芝の「目」の問題である。市販の人工芝のマットというのはよく見る。そういったものの「目空き」は土砂が流れると目が詰まってしまう。貼り付ければ貼り付けるほど掃除はしにくくなる。「目空き」の具合は市販のものでは難しいように思う。

委員長：実物はどのようなものかという図面のようなものをお示しいただきたい。今の仮排水路はどのコースを通っているのか。

事務局：ルート1と類似である。

委員長：幅30cmの溝というのは盛土の中に収まるのか。

事務局：20cmしか深さがなければ、皿形側溝を入れる。

委員長：ここで認められれば、実施設計に入っていく。十分効果が認められるようなものとしていつてほしい。あと、2期の建物のSD404とかSD442とかの遺構に損傷を与えるものではないか。

事務局：ない。

委員長：それではよい。本件は県とも相談しているものか。

県教委：はい。事前に四日市市から相談されており、県としても開渠の景観グレーチングの工法が最も良いと考えている。

委員長：その辺の確認が取れていれば、提案を認めるということにしたい。

事務局：県とも相談しながら国・文化庁に設置の認可をあげていきたい。

②その他

委員：本日、YouTubeのことを紹介いただいた。子どもたちに見せていきたい。YouTubeの周知の方は、校長会とかではやっていただけるのか。

事務局：他課、委員の皆さんのお力もお借りしながら、全市的に広めていきたい。

委員：せっかくなので見せていただき、アイデアがあればお伝えしたい。

事務局：次回第2回は2月か3月を予定している。

(7) 閉会